

# 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

会社名	仁尾興産株式会社
住所	香川県三豊市仁尾町仁尾辛1番地
担当部署	化成品事業部・品質管理課
電話番号	(0875) 82-5021
FAX 番号	(0875) 82-5271

整理番号 N001

作成 1993年2月8日 改訂 2018年11月29日

製品名 (化学名・商品名等)

塩化マグネシウム・6水和物

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性			
爆発物	分類対象外	可燃性/引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外	支燃性/酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類対象外	引火性液体	分類対象外
可燃性固体	区分外	自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類対象外	自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	分類できない	水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類対象外	酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類対象外	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性			
急性毒性(経口)	区分外	急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない	呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない	生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない	生殖毒性	分類できない
授乳に対する影響	分類できない	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	分類できない
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	分類できない	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性			
水生環境有害性(急性)	分類できない	水生環境有害性(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない		

### ラベル要素

絵表示またはシンボル	: -
注意喚起語	: -
危険有害性情報	: - (食品添加物として認められていて、有害性は特にないが、多量に経口摂取すると、悪心、嘔吐などを起こすことがある。)
注意書き	: -

---

### 3. 組織及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一製品
化学名	: 塩化マグネシウム・6水和物
成分及び含有量	: 塩化マグネシウム・6水和物 95.0%~103.0%
化学特性(化学式等)	: $MgCl_2 \cdot 6H_2O$
官報公示整理番号	: 化審法; 1-233 安衛法; 該当なし
C A S No.	: 7791-18-6
国連分類及び国連番号	: 該当なし

---

### 4. 応急措置

目に入った場合	: 直ちに清水で十分洗眼する。異常を感じたら医師の治療を受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに付着部を多量の水で十分に洗浄する。
吸入した場合	: 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかみ、うがいをする。異常を認めた場合は医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに水を飲ませた後これらと共に吐き出させる。 異常を感じたら医師の治療を受ける。
最も重要な兆候及び症状	: データなし
応急措置をする者の保護	: 救助者は、ゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

---

### 5. 火災時の措置

消火剤	: 当該製品自体は不燃性である。周辺の状況に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	: 特になし
特有の危険有害性	: 当該製品は分子中にハロゲンを含有しているため火災時には、一酸化炭素のほか有害ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。
特有の消火方法	: 周辺火災の場合、容器を安全な場所へ移動する。移動不可能な場合容器の周辺を水で冷却する。消火作業は、風上から行う。初期の火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際は、必ず適切な保護具を着用する。

---

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
回収、中和	: 飛散したものを掃き集めて、空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。粉塵が飛散しないようにする。
封じ込め及び浄化の方法・機材	: 危険でなければ漏出源を遮断し、漏れを止める。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	: 皮膚に付けたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用し取り扱う。
	局所排気・全体換気	: 局所排気内、又は全体換気のある場所で取り扱う。
	注意事項	: みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取り扱う。 容器に過度の衝撃を加える、転倒させる、落下させる、又は引きずるなどの粗暴な扱いをしない。
	安全取扱注意事項	: 一般の薬品取扱い注意を守る。
保管	技術的対策	: 直射日光、高温多湿を避けて、換気の良い暗所で保管する。 吸湿性があるので、密栓した容器に保管する。
	適切な保管条件	: 混触危険物質と一緒に保管しない。
	混触禁止物質	: データなし
	容器包装材料	: ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

---

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	: 日本産業衛生学会；設定されていない : A C G I H；設定されていない
設備対策	: 取扱いについては、全体換気装置を設置した場所で行う。 : 粉塵が発生する場合は、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。 : 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	呼吸用保護具 : 防塵マスク
	保護眼鏡 : 普通眼鏡型、側板付普通眼鏡型、ゴーグル型
	保護手袋 : 不浸透性保護手袋
	保護衣 : 保護服、保護長靴、保護前掛け
衛生対策	: 眼、皮膚、衣類に付けない : 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。 : 当該製品を使用する際は、飲食及び喫煙をしない。 : 取扱い後は顔や手をよく洗う。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 潮解性のある固体(粉末、片、粒又は塊)
色	: 白色
臭い	: 無臭
比重	: 1.57
融点・凝固点	: 分解(118°C)
沸点・初留点及び沸点範囲	: データなし
分解温度	: 118°C以上
燃焼性(固体・ガス)	: なし
溶解度	: 水 75.5%(20°C) エタノールに易溶

---

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の条件において安定であるが、潮解性あり。また、塩化物であるため金属類への腐食性がある。
危険有害反応可能性	: 加熱すれば無水物とならず加水分解し、118°Cから塩化水素を発生して分解をはじめ、約200°Cでオキシ塩化物となり、約600°Cで酸化マグネシウムとなる。
避けるべき条件	: 混触危険物質との接触。日光、熱
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 118°Cで塩化水素

---

## 11. 有害性情報 (人についての症例、疫学的情報を含む)

急性毒性	: ラット 経口 ; LD <sub>50</sub> =8100 mg/kg
(50%致死量等を含む)	ラット 静脈注射 ; LD <sub>0</sub> =176 mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	: データなし(皮膚の粘膜を刺激する。)
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: データなし(眼の粘膜を刺激する。)
感作性(呼吸器・皮膚)	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: IARC 及び NTP のリストに記載されていない。
生殖毒性	: データなし

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
魚毒性	: データなし
土壌の移動性	: 物理化学的性質からみて、水域・土壌環境に移動する可能性がある。

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 多量の水で希釈して、pH を中性にした後、下水に流す。 : 都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

---

## 14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報	: 非危険物
	航空規制情報	: 非危険物
国内規制	陸上規制情報	: 規制なし
	海上規制情報	: 非危険物
	航空規制情報	: 非危険物
輸送の特定の安全対策及び条件		: 輸送に際しては直射日光を避け、容器が濡れないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

---

## 15. 適用法令

労働安全衛生法(2016年改正) : 非該当  
毒物及び劇物取締法 : 非該当  
化学物質排出把握管理促進法 : 非該当  
消防法 : 非該当  
その他 : 食品衛生法

---

## 16. その他の情報

問い合わせ先 : 製造場所 : 仁尾興産株式会社 化成工場  
所在地 : 〒769-1406 香川県三豊市仁尾町仁尾辛1番地  
担当部署 : 化成品事業部/品質管理課  
電話番号 : 0875-82-5021 FAX 番号 : 0875-82-5271

引用文献 : 1) 「製品安全データシート(MSDS)作成実務必携」 化学工業日報社  
2) 「化学便覧」 日本化学会編  
3) 「危険物・毒物処理取扱いマニュアル」 海外技術資料研究所  
4) 「14906の化学商品」 化学工業日報社

---

## 記載内容の取り扱い

記載内容は、各種の文献などに基づいて作成しておりますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには充分注意して下さい。

なお、注意事項は通常の利用を対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

また、含有量、物理／化学的性質、危険、有害性等の記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。